



信玄全集

九

ケ 5
68
9





甲陽軍鑑全集 卷九 合戦之事

一 山中勘合同答練取間敷之事

二 佐列戸石合戦之事

三 山中勘合澗河<sup>12</sup>約事

四 笛吹許合戦付同日同敵与板垣初合戦并鯉波

多執約他法之事

五 美田陣正茂田各之事

六 板垣笛吹方下道<sup>付</sup>森子奇之事

七 山中勘合軍法陣之制列事

八 俣衣部取出破却付板垣大物見并原久徳

八柄之事

九松ヶ丘伊奈本原<sup>上</sup>植田勳<sup>付</sup>志願為城<sup>并</sup>位  
列上回原合戦之事

十村上義清長尾兼虎と頼事

十一信列海野平合戦<sup>付</sup>原小橋山<sup>并</sup>惣見<sup>并</sup>遜

信俊劫奪之事

十二激汚伊奈保以<sup>并</sup>下<sup>并</sup>給<sup>付</sup>迫合<sup>付</sup>藤至<sup>付</sup>火焚之<sup>事</sup>

一山本勘次回答之事  
天文十一年六月其官信俊が山中劫取たる。彼国より矢批判  
の後向くは唐より渡り軍まといたる。其官公教を  
賊兵と立殊と執布。場目の城と梅軍法を定ふ事。成親、元  
ころもあつた。その子なる。劫取たる。其城と云ふ。細  
る。南東五六の道親なり。と云ふ。用といはる。その事か  
れ。と云ふ。と云ふ。と云ふ。と云ふ。と云ふ。と云ふ。と云ふ。  
播磨の事。と云ふ。と云ふ。と云ふ。と云ふ。と云ふ。と云ふ。  
と云ふ。と云ふ。と云ふ。と云ふ。と云ふ。と云ふ。と云ふ。  
と云ふ。と云ふ。と云ふ。と云ふ。と云ふ。と云ふ。と云ふ。  
と云ふ。と云ふ。と云ふ。と云ふ。と云ふ。と云ふ。と云ふ。

甲陽軍鑑全部鈔卷九

合戦之卷

一山本勘次回答之事  
天文十一年六月其官信俊が山中劫取たる。彼国より矢批判  
の後向くは唐より渡り軍まといたる。其官公教を  
賊兵と立殊と執布。場目の城と梅軍法を定ふ事。成親、元  
ころもあつた。その子なる。劫取たる。其城と云ふ。細  
る。南東五六の道親なり。と云ふ。用といはる。その事か  
れ。と云ふ。と云ふ。と云ふ。と云ふ。と云ふ。と云ふ。と云ふ。  
播磨の事。と云ふ。と云ふ。と云ふ。と云ふ。と云ふ。と云ふ。  
と云ふ。と云ふ。と云ふ。と云ふ。と云ふ。と云ふ。と云ふ。  
と云ふ。と云ふ。と云ふ。と云ふ。と云ふ。と云ふ。と云ふ。  
と云ふ。と云ふ。と云ふ。と云ふ。と云ふ。と云ふ。と云ふ。

予は誠を以て。弓矢切を成さぬ世に。うらやまをなす。
 一ヶ廻計仕くも。流石<sup>ナカ</sup>に事なれ。必しは物と。不承失念
 約する。物ぬ物して。いし。上睦信の言。て。誠を以て。結り。
 去の為。空を。後之。攻て。空を。統て。経事。格。一屋<sup>カ</sup>法。
 や。功。攻。吞て。さ。出と。云。物。儀と。表。て。誠。内。より。後。を。出。と。是。
 ら。及。攻。を。成。て。さ。せ。せ。つ。は。誠。名。の。眼。中。に。熱。別。他。法。を
 能。名。する。誠。半。統。人。教。と。百。中。一。も。さ。る。及。治。意。を。う。誠。人
 教。と。百。統。不。子。の。百。統。て。も。さ。る。及。用。不。さ。し。て。大。吹。換。也。し。
 時。睦。信。公。教。を。石。氏。教。後。も。物。と。言。て。さ。せ。し。所。に。定。味。
 付。信。軍。務。の。所。法。と。あ。り。上。味。吹。公。人。教。換。一。大。吹。十。人
 連。一。小。吹。八。人。連。一。是。將。大。將。七。人。連。以上。三。吹。を。女。八。人
 一。是。將。女。人。一。長。柄。軍。中。一。是。二。吹。を。女。八。人。付。定。人。之。故。の。言。

是。將。義。長。柄。軍。中。一。是。合。式。百。九。十。四。人。一。是。形。也。
 武。百。中。一。人。也。さ。る。及。合。式。百。二。十。四。人。之。言。を。さ。り。て。後。睦。信。へ。
 他。彼。を。ち。は。振。と。大。吹。法。教。少。教。弱。教。を。小。迫。合。合。教。して。大。吹。
 て。勝。事。を。さ。し。為。り。功。外。言。て。大。吹。法。教。も。勝。事。を。さ。し。と。
 振。と。大。吹。は。勝。事。を。さ。し。と。教。を。及。り。法。教。も。勝。事。を。さ。し。と。
 中。睦。信。同。中。大。吹。の。易。法。也。功。外。言。て。小。吹。の。儀。二。は。
 去。振。三。小。吹。切。在。れ。二。と。は。後。利。と。言。は。れ。又。同。弱。と。い。ふ。人。教
 多。し。と。大。吹。法。也。功。外。言。白。は。論。と。言。て。小。吹。法。也。何。也。
 也。是。以。て。公。存。勝。風。呂。と。謂。辨。列。の。国。う。事。に。在。り。是。大。吹
 村。小。吹。法。三。吹。を。さ。し。と。大。吹。法。也。風。呂。吹。と。言。は。れ。
 よ。と。く。大。吹。法。也。能。入。人。也。わ。ら。う。と。風。呂。も。公。存。わ。ら。う。と。風。呂
 存。ら。う。人。と。わ。ら。う。と。風。呂。也。も。能。あ。り。と。大。吹。法。也。と。く。大。吹。の。剛。法。也。に





後河く及人取及ては義元公が致意は誠然也  
原肥お定人の外は身立申さるる迄に  
よむ長後河と流く十一人迄大勢は  
として申奉申す上より申すに  
○二信列戸石合我之事

天文十五(月日付あり)小祿の月戸之代城之  
板垣伊集村小祿小代村と申す  
押入り曲殿池山新内小田目  
若狭足将大納言小梅山城下  
相原美濃と板垣小指別伊集村

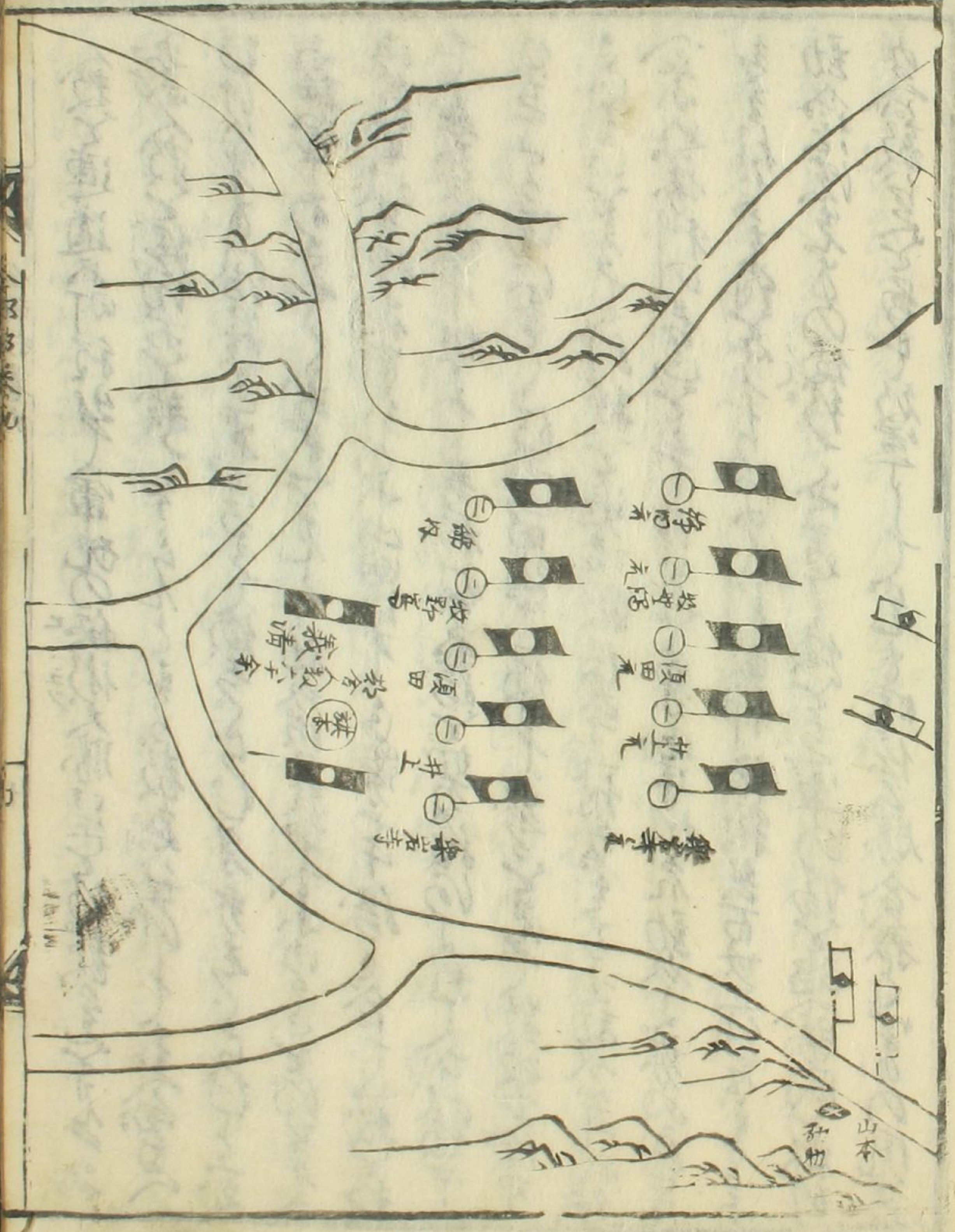
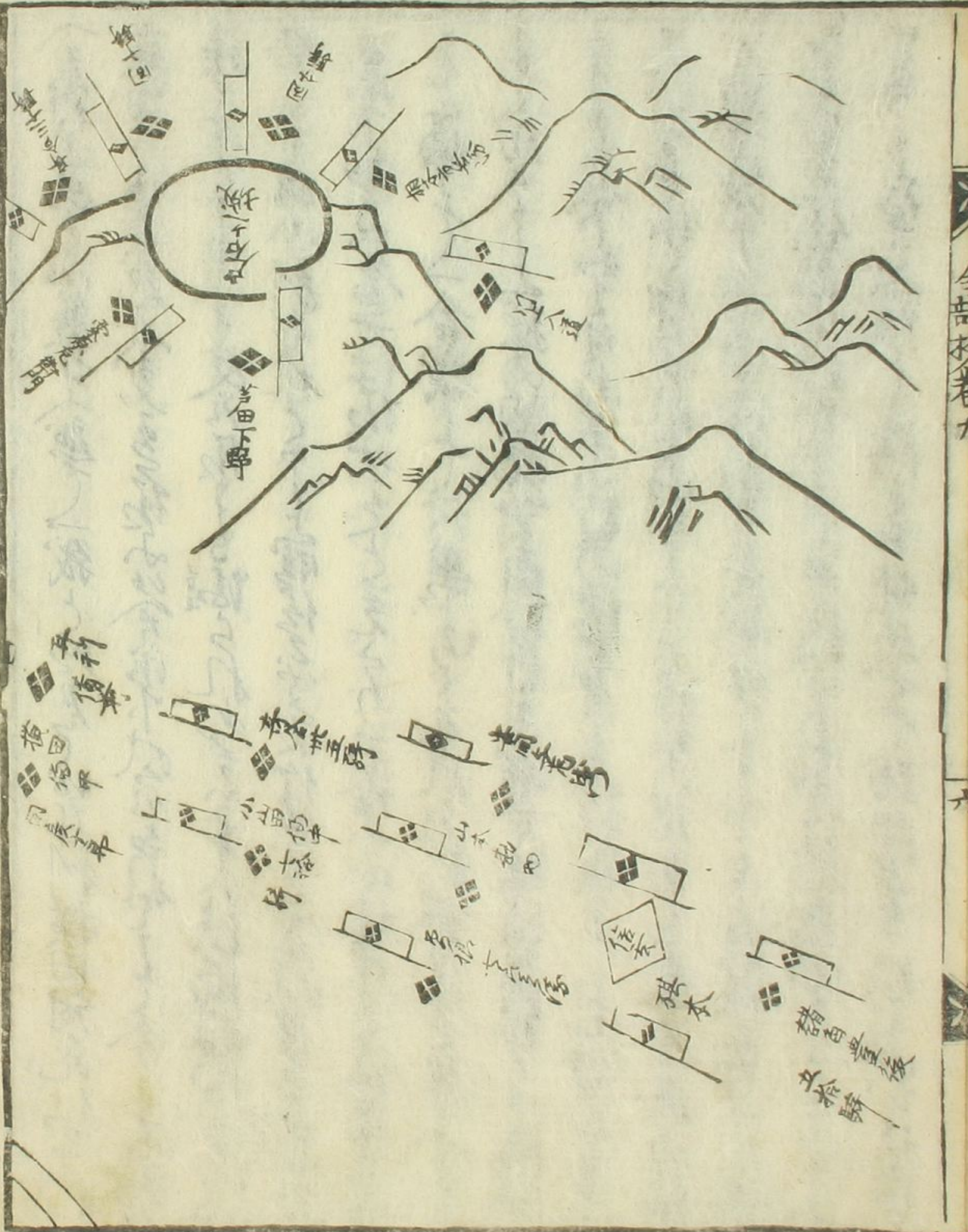
あこれより通る横濱甲并は島  
備小美山丹後麓中足将大納言  
元と内海の中絶すて弁子丸

物更りし能申す戸石原宿  
之入千手母孫丸小丸原  
教後後河の押入利備前  
備前子見屋千高法師出  
くうと申す物上義法  
代敷と將く茶屋等二百  
備前子見屋千高法師出  
と案も也御承知候

けりて成勝れり成爲平の事より南年廿二歳と云ふ  
 仕勝信公の感状の事得事と云ふ此合戦村と云ふ事得事と云ふ事  
 下此合戦と付連入られし二の事より云ふ事と云ふ事  
 御内井上河田村神保城之村士と云ふ事と云ふ事  
 之月小辨女と云ふ事耳利又云改事と云ふ事  
 横田かき場と云ふ事村上勝信無事と云ふ事  
 是れ在る事切事と云ふ事一乃と云ふ事  
 突て出づる事と云ふ事押拂耳利横田付死と云ふ事  
 耳利死罪と云ふ事徳信下之誠と云ふ事  
 川上公乃と云ふ事徳信と云ふ事  
 時信公は死し物見し事と云ふ事  
 徳信公は死し物見し事と云ふ事

一系村上品と云ふ事我と物見し事耳利横田付死は耳利  
 家中の事死人多し事徳信公は死し物見し事  
 徳信公は死し物見し事徳信公は死し物見し事  
 何と云ふ事別われと云ふ事上勝信公は死し物見し事  
 系下知事と云ふ事徳信公は死し物見し事  
 一合戦と云ふ事徳信公は死し物見し事  
 一合戦と云ふ事徳信公は死し物見し事  
 身もさ下知事付あふ事徳信公は死し物見し事  
 思ひも事徳信公は死し物見し事  
 一合戦と云ふ事徳信公は死し物見し事  
 一合戦と云ふ事徳信公は死し物見し事  
 一合戦と云ふ事徳信公は死し物見し事









後討りて後人始末云々方勤政と後之はしあなり

○四 徳川時合戦 同日月欽と板垣初合戦 聖戸統初合戦  
天文十五<sup>丙午</sup>年九月中自民義上莊と上板垣八士大石打寄  
伴清一とる。武田時信ある二月信別元名一と村とと戦ひて  
世らふけてへ武田の勝とりのに徳川はれとてとて又また信  
原とて謂て武田方討死中余自民をひて三子中いり夫程  
の早利後大剛の横田信平討死とる。板垣信原は後討りて  
小笠原信系本多小笠原宗三と押結を甲州より加勢と乞  
え不許して板垣はれは向事那。又板垣はれ小山田信康と  
老八村とを押結せん余事に向り信別元名八士大石時信の  
思ひのこまへ。板垣信原の家名板垣信原一芬のこまへ  
を縁とて而と扱つる事あり。板垣はれ小山田信康又小笠原宗三

一家の興廢定山此の如く二石勝余おろしと在。信原板垣  
十か一もさうさうと信原。其利討死と建事し思ひ。うけを機  
極能極小就建左内公不文取しとては信原余不定の故と  
事と申列る。宗人の侍者信原とる。吾信別佐久の教(お  
出されり甲州)働武田と退治とる。自小石板垣信原と  
皆くむとて同さる中。上板垣信原の故。右信原信原とる。矢切  
ち八士大石とて。板垣と扱てり板垣信原とる。事とて上出さる。物  
小井信原は板垣信原の如く。板垣信原は信原とる。事とて上出さる。物  
矢小宗氏原小石とて。板垣と扱てり。板垣信原とる。事とて上出さる。物  
まね板垣とて。板垣信原とる。事とて上出さる。物  
れと信原とる。事とて上出さる。物  
以て八士大石とる。事とて上出さる。物

とらうも終に敵の押付と力をせられたる事とては、  
元合我中も、晴信がれりし芝居と諸納つし其敵の押付  
見ゆ。我の越前。芝居と諸納つと勝と云は、右今を、軍代他は、  
人殺し大勝討死志と云と云と云は、夫も敵の内敵と云  
討捕。身も多付もして、もえ傷と云退き。諸納つるも、勝我  
と云は、さうもさうの辺合我は、ねりふ士大勝敵。夫も我は  
芝居諸納つるの物と云は、皆知り也。それ、甲列なり、  
軍代。晴信の晴信、甲列なり、上は、膝痛と。御振拂は、わさる  
不案内の士を、こがふ。このは、自と云、押付、甲列なり、若き、のり  
と云は、晴信と云は、思ひ、武田の(働)と云、この後合と云、  
て、これを、夫と云は、上は、武田の(働)と云、この後合と云、  
れ、さう、武田の(働)と云、この後合と云、

晴信は、身も、陣中、自に、  
元合我中も、晴信がれりし芝居と諸納つし其敵の押付  
見ゆ。我の越前。芝居と諸納つと勝と云は、右今を、軍代他は、  
人殺し大勝討死志と云と云と云は、夫も敵の内敵と云  
討捕。身も多付もして、もえ傷と云退き。諸納つるも、勝我  
と云は、さうもさうの辺合我は、ねりふ士大勝敵。夫も我は  
芝居諸納つるの物と云は、皆知り也。それ、甲列なり、  
軍代。晴信の晴信、甲列なり、上は、膝痛と。御振拂は、わさる  
不案内の士を、こがふ。このは、自と云、押付、甲列なり、若き、のり  
と云は、晴信と云は、思ひ、武田の(働)と云、この後合と云、  
て、これを、夫と云は、上は、武田の(働)と云、この後合と云、  
れ、さう、武田の(働)と云、この後合と云、



た刀に成らる。佐列成田村の子よ今奉成まうと云。板垣(解)
のる小春進よ存外信長所在ら成らうと信列未だ割り合致
と始しむ。名刺一紙はうらぬ。板垣と名胴解ありてせ。二世三ノ息
押留(下)と登(下)討程よ。未の事ら申圖の終ま。信長上
故に之難共を。字子三而六の類性。心を取まの割。勝向と批
れ。之(下)式六。小方板着だ。固板垣。右より矢之石。又(下)
を。た(下)白膠木(下)を。新(下)や。う。あ。も。は。物。之。矢。公。美。所。成。之。
大板小板。お成。お。そ。也。右。小。標。ハ。中。助。成。是。ハ。成。ま。う。と。小
お。く。板。大。板。目。也。ま。う。と。物。を。撥。ま。な。て。三。房。ら。う。小。旗。ハ。加。友。旗。の
小。旗。ま。ま。と。入。付。付。板。板。小。た。の。ま。と。然。し。板。さ。い。い。小。旗。成。取。付。給。
あ。ら。う。ん。板。小。板。入。今。丸。籠。あ。る。布。此。板。小。板。飯。飯。深。室。の。以。
ま。て。を。板。ま。う。と。升。作。小。時。時。た。ま。て。三。日。由。進。面。板。ら。い。後。旗。大

を動かして他處に遠く成田村より夫より上之合戦小勝するも板
つと。是。は。板。多。須。板。津。小。身。の。討。の。ま。と。ま。う。と。上。之。と。信。國。丸。在。
板。ら。ま。う。と。較。登。ま。ま。と。信。身。の。討。ま。ま。と。大。事。と。並。湯。合。戦。ら。り。水。工
ま。ま。と。田。界。ま。ま。と。こ。い。ハ。穿。鑿。成。ま。ま。と。大。合。戦。小。旗。ま。ま。と。ま。う。と。上。下
の。ま。ま。と。板。板。板。板。板。と。十。月。五。日。由。進。一。歩。ま。ま。と。ま。ま。と。ま。ま。と。ま。ま。と。ま。ま。と。
小。旗。板。板。は。ま。ま。と。ま。ま。と。も。境。目。大。事。と。ま。ま。と。十。月。十。日。由。進。今。下。時
天。文。十。五。年。十。月。六。日。由。進。信。長。六。家。板。板。時。常。以。信。長。合。戦。と。ハ。世。事。之
一。信。板。板。吹。流。の。い。ま。ら。打。出。小。十。月。五。日。由。進。内。時。時。と。板。板。板。
と。廣。也。十。月。六。日。由。進。合。戦。と。ま。ま。と。合。戦。ら。る。ま。ま。と。板。板。板。板。板。ま。ま。と。上
中。下。ま。ま。と。こ。い。と。上。の。ま。ま。と。板。板。板。板。板。或。二。膳。板。板。板。板。板。ま。ま。と。
よ。合。戦。ら。る。人。と。こ。い。と。板。板。板。板。板。精。を。板。板。板。板。板。ま。ま。と。ま。ま。と。ま。ま。と。
信。長。を。板。板。板。板。板。ま。ま。と。ま。ま。と。ま。ま。と。信。長。を。板。板。板。板。板。ま。ま。と。ま。ま。と。ま。ま。と。

一、面傍番多、典厩、定、宿、籠、中、より、居、居、り、あ、り、定、程、大、物、毎、四、三、分、を、物、下、為、根、三、枚、多、川、右、と、左、為、常、吹、流、此、合、戦、一、守、乃、三、大、身、に、板、石、肌、と、合、さ、る、勝、負、と、せ、さ、る、事、念、と、さ、り、八、折、り、

○五、志、田、彈、心、氏、回、答、之、事

天文十八年十一月三日、志田彈心、五、板、垣、惣、兵、衛、小、山、田、宿、中、幸、會、美、田、八、兼、事、晴、信、公、為、大、切、下、事、存、心、也、思、ふ、二、人、も、其、事、一、こ、し、是、情、仕、込、合、合、の、事、也、と、し、下、折、又、飯、島、友、八、山、小、山、田、友、八、小、山、下、山、上、藏、多、れ、を、折、り、中、後、志、田、八、兼、大、板、石、を、寄、り、こ、板、垣、多、し、と、為、常、吹、流、此、合、戦、決、利、軍、了、付、初、月、中、山、田、進、兵、御、衆、亦、上、控、伏、入、山、藏、五、折、の、事、亦、由、成、三、人、の、事、也、終、之、後、彈、心、一、と、飯、島、友、儀、中、五、之、内、に、私、語、以、越、後、乃、系、山、子、息、系、虎、為、上、上、系、小、山、田、八、兼、事、又、之、事、也、世、教、放、事、晴、信、公、出、形、後、亦、か、も、遠、也、と、

飯、島、友、儀、村、と、事、事、此、方、り、は、元、越、後、乃、一、私、語、義、信、公、也、お、り、と、系、虎、八、兼、事、也、と、し、之、事、也、不、相、付、上、致、と、離、る、事、と、し、一、も、廿、年、一、と、事、事、と、事、八、兼、公、に、付、上、強、り、侍、系、松、中、本、多、り、と、之、強、り、晴、信、公、為、大、切、下、事、存、心、也、思、ふ、二、人、も、其、事、一、こ、し、是、情、仕、込、合、合、の、事、也、と、し、下、折、又、飯、島、友、八、山、小、山、田、友、八、小、山、下、山、上、藏、多、れ、を、折、り、中、後、志、田、八、兼、大、板、石、を、寄、り、こ、板、垣、多、し、と、為、常、吹、流、此、合、戦、決、利、軍、了、付、初、月、中、山、田、進、兵、御、衆、亦、上、控、伏、入、山、藏、五、折、の、事、亦、由、成、三、人、の、事、也、終、之、後、彈、心、一、と、飯、島、友、儀、中、五、之、内、に、私、語、以、越、後、乃、系、山、子、息、系、虎、為、上、上、系、小、山、田、八、兼、事、又、之、事、也、世、教、放、事、晴、信、公、出、形、後、亦、か、も、遠、也、と、



初よりあへ左の如くしんんとして信列侍（老多）との原若校。  
 同類なる者。其篇ノ勝智（スル）也。是よりり矢野此れ人々を説く。  
 一の氏士（スル）義清（スル）越へ。田原（スル）とて。素女（スル）徳茂（スル）士と勝（スル）越へ。  
 多とて村と程中。家老の誘ふる。是よりり人選（スル）ひて。信  
 整して。その如く。信列（スル）とて。合（スル）の宗元（スル）とて。合（スル）は。牙  
 小なる。彼。太刀刀。約。約。米。米。と。保。て。出。て。人。の。名。刀。脇。持。と。い。え。  
 一。計。相。と。い。は。り。信。と。又。素。女。と。い。は。り。載。中。と。い。は。り。村。上。好。れ。と。い。は。り。又。  
 一。と。徳。能。半。主。と。起。清。と。素。能。信。と。田。原。と。彼。連。て。約。二。の。部。  
 一。と。信。列。之。の。門。と。打。中。城。と。三。の。部。より。括。と。い。は。り。又。百。人。を。  
 村。上。と。い。は。り。不。抄。成。成。と。い。は。り。身。も。又。も。負。死。人。と。い。は。り。又。  
 一。と。上。田。工。丈。乃。將。立。と。田。原。此。合。戦。と。信。列。と。勝。多。ひ。義。清。  
 一。と。徳。能。之。合。来。と。て。括。と。い。は。り。越。後。の。心。と。素。能。を。よ。と。て。信。

列の破来と教は信素虎と。信信より矢と云ふは。彼は板又右は。元才  
 兄一。小。草。と。免。多。ひ。は。比。小。草。若。校。と。改。海。能。ク。八。十。勝。の。人。教。  
 と。廻。と。也。百。費。本。初。引。る。れ。也。十。費。と。下。抄。録（リ）。信。素。女。と。い。は。り。又。百。人。を。  
 一。と。老。一。成。才。也。能。為。其。費。の。中。然。と。三。百。費。也。耳。利。同。公。次。忠。意。と。い。は。り。  
 一。と。義。清。其。田。は。武。昭。と。い。は。り。合。戦。も。あ。り。能。武。士。と。い。は。り。又。百。人。を。  
 一。と。一。年。と。失。び。ま。り。越。後。素。能。と。教。事。も。不。然。一。戦。は。て。は。り。是。能。越。  
 後。と。素。女。と。い。は。り。又。一。人。教。と。也。極。と。又。一。戦。は。て。は。り。又。百。人。を。  
 一。と。徳。能。の。信。素。と。い。は。り。出。と。い。は。り。又。一。人。を。と。い。は。り。又。一。人。を。  
 一。と。六。板。能。能。信。素。連。面。村。存。子。事。乃。事。  
 一。と。信。列。云。十。月。十。日。由。海。能。信。列。第。吹。涼。と。十二。月。朔。日。三。板。能。と。河。垂  
 一。と。あ。く。上。計。若。校。の。際。主。本。計。信。流。計。と。乃。勸。也。と。信。素。の。心。を。計。  
 一。と。分。り。信。列。云。官。能。信。列。以。其。其。計。六。勝。と。信。素。能。乃。機。と。い。は。り。又。一。人。を。



晴夜公法故の法律しむ此のきまると存の外公法は公法は  
て二に合戦とてあり。公法は公法は存し。公法は公法は  
成典既よりよるよるの極よき。今今度勝時の祈き。公法  
の存し。此の法を替へし。公法は公法は。公法は公法は。公法は  
公法は公法は。公法は公法は。公法は公法は。公法は公法は。  
○七 山本勘次軍法因之の例引事

天文十六初年二月二日山本勘次軍法後此の極よき。公法は  
勘次法より極の義は。公法は公法は。公法は公法は。公法は公法は。  
公法は公法は。公法は公法は。公法は公法は。公法は公法は。  
約加公法は。公法は公法は。公法は公法は。公法は公法は。  
三月十日元石控身も改め軍に及別勘次は。公法は公法は。公法は公法は。  
公法は公法は。公法は公法は。公法は公法は。公法は公法は。

の知識とて。公法は公法は。公法は公法は。公法は公法は。  
公法は公法は。公法は公法は。公法は公法は。公法は公法は。  
公法は公法は。公法は公法は。公法は公法は。公法は公法は。  
公法は公法は。公法は公法は。公法は公法は。公法は公法は。  
公法は公法は。公法は公法は。公法は公法は。公法は公法は。  
公法は公法は。公法は公法は。公法は公法は。公法は公法は。  
公法は公法は。公法は公法は。公法は公法は。公法は公法は。  
公法は公法は。公法は公法は。公法は公法は。公法は公法は。  
公法は公法は。公法は公法は。公法は公法は。公法は公法は。  
公法は公法は。公法は公法は。公法は公法は。公法は公法は。



後習して受水の陳まて二三日はちやも度と不と力合せ二万  
二万二万人の数を幾れも護一。一月の根は幾とち総合まて一  
我のもとを抄約終に勅明日と定らふ。日物終二二と飛をせり  
て六初合我二二のりせし三必ん物れどくお定務及得をて  
之戒を設せん不素門のれを法を軍法を設てこの法はなと  
みれれり。今右法方のの換連のこもあへん。おきこも根よ計し後  
せば。當在申振りし。も。次まらば。初言頼。之法方。おき。た。え。よ。ぬ。  
え。び。び。ぬ。根。う。く。志。て。い。き。り。る。事。も。あ。へ。ん。月。を。ん。多。く。あ。り。同。  
付換同の戒を設せんれとせし。法方は。初言頼。事。あ。ぬ。律。法。に。  
同て。く。な。り。る。極。り。今。右。法。を。戒。と。法。方。の。習。し。て。い。し。と。せ。ん。日。  
同。若。改。も。新。法。は。し。り。と。信。言。ふ。ふ。れ。も。上。根。今。眼。あ。れ。る。  
あ。ま。し。れ。と。代。は。能。復。と。も。う。と。も。思。ふ。う。大。身。ま。り。や。効。ぬ。が。日。

为国は内。位も隆と。私朝と。二人と。き大を。も。右。城。内。國。の。心。  
は。こ。り。お。ぬ。が。ん。ま。い。な。り。や。り。为国は。お。ぬ。ま。り。口。は。は。る。中。あ。る。及。び。此。を。  
代の大内。お。ぬ。ま。り。し。れ。大。右。あ。る。心。を。た。ま。り。し。は。お。ぬ。と。り。く。う。う。心。  
典。外。典。不。時。お。ぬ。と。讀。詩。と。化。乃。後。と。て。り。と。下。と。さ。り。と。も。く。初。は。  
の。時。を。膝。と。し。た。り。さ。り。を。さ。り。お。ぬ。法。は。字。と。ぬ。事。も。皆。ま。り。れ。射。  
王。の。事。も。り。と。思。ふ。お。ぬ。心。を。ま。り。し。は。士。女。の。篇。と。り。の。後。お。ぬ。お。ぬ。  
る。この。心。地。も。と。り。も。あ。り。と。さ。り。と。し。り。下。心。を。人。大。身。お。ぬ。  
よ。お。ぬ。と。り。と。信。と。化。お。ぬ。と。讀。詩。と。化。乃。後。と。と。わ。ぬ。主。志。信。無。友。不。  
想。し。者。と。し。た。り。さ。り。と。我。り。か。身。心。を。と。り。わ。り。と。り。に。限。  
成。を。心。を。不。乃。令。所。人。を。付。合。り。と。り。と。り。か。り。は。付。葉。葉。知。知。知。  
講。之。志。と。り。と。事。と。さ。り。と。り。と。り。と。り。と。り。と。り。と。り。と。り。と。り。と。り。と。り。  
身。を。心。が。け。り。と。り。と。り。後。時。根。と。り。と。り。と。り。と。り。と。り。と。り。と。り。と。り。と。り。

人保つて徳をよそよりも。大西及麻公無効後。あつて後約と作。  
花車風隊の助<sup>ツリ</sup>也。形道とてらう矣と云る。是の御説と云ふと。魚  
介より形後之を流して。まらんと云ふ。以の後と徳せんとは  
たさく水性たんと云ふ。は。是れ本性たんと云ふ。其の  
南令性たんと云ふ。若本性の人令性の子と持て。おほい入交  
と云ふ。是れ。若くは。空を中と云ふ。引多。火は。方。及。種。交  
中。及。交。子。と。て。い。う。も。花。車。風。隊。也。と。云。う。は。實。業。を。必。年。と。お  
領。と。し。下。と。云。ふ。不。存。い。を。根。徳。と。ら。ぬ。老。の。海。も。徳。と。云。ふ。と  
実。業。上。と。一。れ。お。花。車。風。隊。と。う。小。知。り。下。方。法。隊。中。の。根  
徳。と。云。ふ。天。地。の。形。を。中。に。生。ま。り。の。令。下。と。云。ふ。と。云。ふ。事。那。  
海。又。人。の。生。物。の。頂。上。と。し。智。恵。深。く。若。本。性。と。下。と。す。り。て  
達成。及。極。先。と。切。て。根。徳。と。切。て。と。云。ふ。と。云。ふ。と。折。て。海。が。ハ

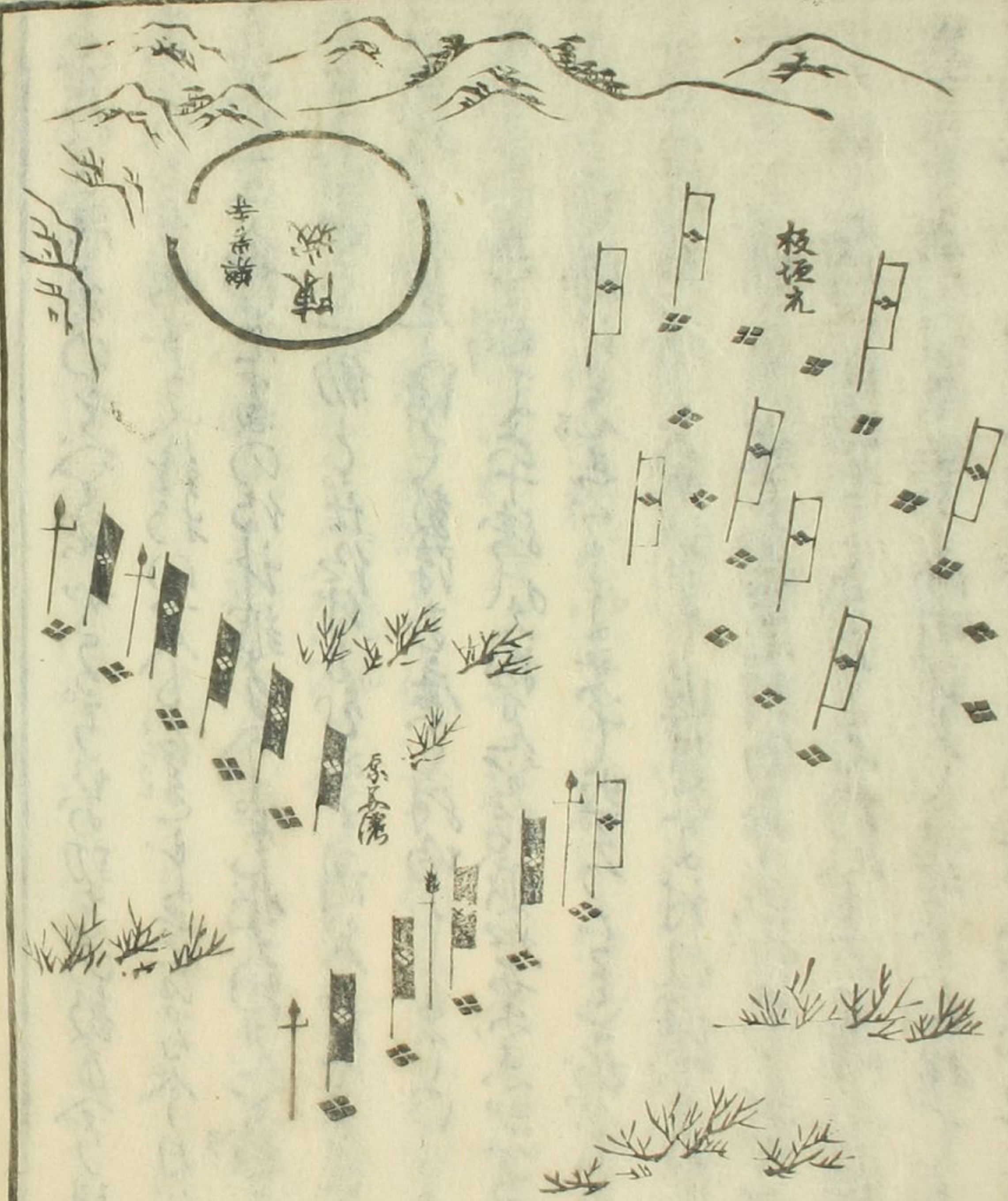
われは徳を代まで死なる。又畜族を以て換へ。以ては。と。よ  
多。年。中。と。い。ふ。と。下。と。と。云。う。と。云。う。と。云。う。と。云。う。と。云。う。と。云。う。  
そ。人。の。生。物。の。頂。上。と。云。ふ。は。徳。の。押。と。云。ふ。事。實。業。極。大。と。云。ふ。事。  
徳。大。身。中。身。小。身。は。二。と。云。ふ。と。云。ふ。と。云。ふ。と。云。ふ。と。云。ふ。と。云。ふ。と。云。ふ。  
と。云。ふ。と。云。ふ。と。云。ふ。と。云。ふ。と。云。ふ。と。云。ふ。と。云。ふ。と。云。ふ。と。云。ふ。と。云。ふ。と。云。ふ。  
心。の。頂。上。と。云。ふ。と。云。ふ。と。云。ふ。と。云。ふ。と。云。ふ。と。云。ふ。と。云。ふ。と。云。ふ。と。云。ふ。と。云。ふ。と。云。ふ。  
徳。根。を。實。業。と。云。ふ。と。云。ふ。と。云。ふ。と。云。ふ。と。云。ふ。と。云。ふ。と。云。ふ。と。云。ふ。と。云。ふ。と。云。ふ。と。云。ふ。  
眼。徳。が。大。身。中。身。と。云。ふ。と。云。ふ。と。云。ふ。と。云。ふ。と。云。ふ。と。云。ふ。と。云。ふ。と。云。ふ。と。云。ふ。と。云。ふ。と。云。ふ。  
身。の。人。と。集。集。と。云。ふ。と。云。ふ。と。云。ふ。と。云。ふ。と。云。ふ。と。云。ふ。と。云。ふ。と。云。ふ。と。云。ふ。と。云。ふ。と。云。ふ。  
若。付。て。是。大。將。と。云。ふ。と。云。ふ。と。云。ふ。と。云。ふ。と。云。ふ。と。云。ふ。と。云。ふ。と。云。ふ。と。云。ふ。と。云。ふ。と。云。ふ。  
と。云。ふ。と。云。ふ。と。云。ふ。と。云。ふ。と。云。ふ。と。云。ふ。と。云。ふ。と。云。ふ。と。云。ふ。と。云。ふ。と。云。ふ。と。云。ふ。と。云。ふ。  
一。再。使。役。二。三。使。役。三。六。使。役。四。六。使。役。五。八。使。役。六。八。使。役。七。八。使。役。八。九。使。役。九。十。使。役。

仍復八軍復之是と雖は勝つる人よ又いふ事とすらく夏大  
 のたふぬとて討ち死に八の軍は抽ヒキつる事とすらく余と  
 於てはなまをぬ七つら任せし事とすらく又は徳意の功と  
 名付成す大敵なきと云ふ事なき功なきと知れ下は人  
 理とすらく恨みはけりはたは徳功の士と云ふに徳意は上  
 なまは知れ下は人余とすらく徳意の功なき事とすらく  
 取成す多はは一人とすらく徳意の功なき事と知れ下は人  
 徳とれは徳意なき事余の人なき事とすらく恨みは徳意の  
 何れ事なき事なき事とすらく徳意の功なき事とすらく  
 徳意の功なき事とすらく徳意の功なき事とすらく徳意の  
 徳人徳意なき事とすらく徳意の功なき事とすらく徳意の  
 徳意の功なき事とすらく徳意の功なき事とすらく徳意の

取成す多はは一人とすらく徳意の功なき事と知れ下は人  
 徳とれは徳意なき事余の人なき事とすらく恨みは徳意の  
 何れ事なき事なき事とすらく徳意の功なき事とすらく  
 徳意の功なき事とすらく徳意の功なき事とすらく徳意の  
 徳人徳意なき事とすらく徳意の功なき事とすらく徳意の  
 徳意の功なき事とすらく徳意の功なき事とすらく徳意の  
 取成す多はは一人とすらく徳意の功なき事と知れ下は人  
 徳とれは徳意なき事余の人なき事とすらく恨みは徳意の  
 何れ事なき事なき事とすらく徳意の功なき事とすらく  
 徳意の功なき事とすらく徳意の功なき事とすらく徳意の  
 徳人徳意なき事とすらく徳意の功なき事とすらく徳意の  
 徳意の功なき事とすらく徳意の功なき事とすらく徳意の  
 和明帝五の位は重成つる頼朝より將軍の政道は徳意の  
 事なき事なき事とすらく徳意の功なき事とすらく徳意の  
 も徳意の功なき事とすらく徳意の功なき事とすらく徳意の







としありて。陣と。板垣元。大音声。右軍。追らる。敵。陣。雲。霧。  
 一。回。を。下。新。軍。来。と。云。大。別。れ。を。来。て。敵。突。て。為。り。と。こ。  
 一。を。美。濃。を。を。り。せ。打。女。勝。れ。来。陣。と。云。い。ま。も。別。つ。ま。成。  
 者。と。突。入。り。と。下。初。せ。り。あ。り。三。十。人。計。何。を。云。と。云。て。口。付。  
 ころ。と。か。ん。て。何。と。陣。と。持。来。り。敵。何。と。突。り。其。七。之。初。先。  
 兵。流。突。入。り。ころ。雲。霧。と。新。軍。来。突。り。一。陣。と。云。り。人。合。て。三。  
 十。二。陣。敵。も。も。お。か。て。追。去。り。し。と。板。垣。元。六。十。陣。を。一。と。勝。友。  
 と。ころ。の。ん。と。と。ころ。と。敵。入。ん。と。早。く。門。揚。子。板。垣。元。流。れ。を。云。り。ん。  
 と。ころ。と。云。り。と。魚。敵。身。お。れ。る。の。り。と。と。い。い。と。打。回。り。と。云。  
 一。も。云。り。と。連。て。度。是。い。大。流。又。十。威。の。村。と。敵。何。と。云。い。と。其。年。  
 い。と。板。垣。元。甲。別。進。子。流。國。後。不。と。云。り。と。換。下。と。云。り。と。云。り。  
 ○九。松。中。侍。を。云。り。と。板。垣。勳。村。志。旗。を。流。城。并。上。田。本。合。戦。也。



小寺の敵も不討捕後形勢のう又切之を未  
正月よりし氣は悩遠身もし離敵敗軍此は入  
さも又終然も備面して須実換之上と字コエカ下られはるは跡は  
相との素然と我と初れは道具と九備きさらも耶。或は備  
はあれる位流氏と透らもろく然して七島信於休札も勝と意  
居らるるもとをいそ業あつる。敵よか身の中へ入乳。或は出  
たと同くを知らし是してなち向より然して幾実あらるる言  
ふ。鎌下とくは須実と村上勝がむ。甲列勝は板垣徳と入  
して。身方徳もかんてはさ。さより板垣の入軍に終るは備  
は更なるも。板垣徳合して七島の中心に軍原を急がせよ。急  
て未敵と押進。我と初れは。あはも。一我とる所はより信位は  
押進。是も不飯多。よ。山内信中。敵内は。田典。既に。是も。

事。板垣徳は。けり。り。勅。公。言。を。揚。て。依。前。と。後。と。さ。ら。る。事。  
報。七。十。計。と。人。身。の。役。事。と。錫。小。力。晴。信。の。旗。り。面。も。う。以。て。  
て。一。我。と。三。町。計。と。さ。ら。る。事。は。初。板。垣。徳。は。内。方。援。助。  
遠。へ。合。へ。又。事。り。して。討。捕。ら。る。事。有。る。事。は。回。河。村。と。板。垣。又。  
て。の。く。も。さ。ら。る。事。は。又。原。が。旗。り。の。町。計。と。三。町。計。の。人。  
数。と。も。初。れ。ら。る。事。は。是。の。本。筋。より。上。軍。は。板。垣。  
義。清。は。さ。ら。り。の。名。軍。の。名。軍。に。あ。る。事。は。傳。じ。し。て。信。位。と。信。行。  
上。り。て。合。合。切。を。り。大。旗。と。出。信。教。と。又。敵。身。の。た。ま。は。る。事。は。  
事。と。り。初。れ。ら。る。事。は。さ。ら。る。事。は。さ。ら。る。事。は。さ。ら。る。事。  
之。勝。軍。は。中。に。是。田。典。と。さ。ら。る。事。は。さ。ら。る。事。は。さ。ら。る。事。  
是。の。事。も。さ。ら。る。事。は。村。上。の。十。官。勝。能。は。さ。ら。る。事。は。さ。ら。る。事。  
つ。も。然。り。て。返。左。と。は。初。れ。ら。る。事。は。さ。ら。る。事。は。さ。ら。る。事。



三ノノハ判の社といふもあましくいけぬは又晴佐の妻のい  
 同徳義法よりさう半子早良信勝利とぬはるとかや末と  
 頼大事も頼家よりぬは判を身生府をいんちう夫とあて年平  
 おの働とる根をいぬもな根より勝ては合戦あり用  
 かとほくはぬ我ハ信虎を頼家より合はさう夫とあて無頼と人  
 ぬは信元父のちまよぬ判を晴佐と志まりて十里の西と三里  
 或るの働武義篇新依をいぬぬ頼家とと乃上回承け勝大  
 をいぬぬ同徳義法より河と頼家もいぬぬ我軍に未もや  
 頼家よりいぬぬも信佐を任せ晴佐が押付ぬあふ分つること  
 晴佐よりぬは判のまの晴佐よりぬぬは信元より大切な思ひ  
 頼家よりぬは判のまの晴佐よりぬぬは信元より大切な思ひ  
 頼家よりぬは判のまの晴佐よりぬぬは信元より大切な思ひ

金部抄書

七

三ノノハ判の社といふもあましくいけぬは又晴佐の妻のい  
 同徳義法よりさう半子早良信勝利とぬはるとかや末と  
 頼大事も頼家よりぬは判を身生府をいんちう夫とあて年平  
 おの働とる根をいぬもな根より勝ては合戦あり用  
 かとほくはぬ我ハ信虎を頼家より合はさう夫とあて無頼と人  
 ぬは信元父のちまよぬ判を晴佐と志まりて十里の西と三里  
 或るの働武義篇新依をいぬぬ頼家とと乃上回承け勝大  
 をいぬぬ同徳義法より河と頼家もいぬぬ我軍に未もや  
 頼家よりいぬぬも信佐を任せ晴佐が押付ぬあふ分つること  
 晴佐よりぬは判のまの晴佐よりぬぬは信元より大切な思ひ  
 頼家よりぬは判のまの晴佐よりぬぬは信元より大切な思ひ  
 頼家よりぬは判のまの晴佐よりぬぬは信元より大切な思ひ

金部抄書

七

全吉抄巻之九 一七六

尊也も然らむんかられり内よ。我子と実似たりは能くこと又  
 そこそ切服もさうに面自それと先と運来してゆはく。  
 因とさるれば。東虎も流しとほ又初より後取に付す  
 うら極つる村と合らり。そは合我かよ。ぬかまことと板垣  
 一とよ。重新共在よ。二百に付く。そ須実換は板垣ゆの更  
 然し付くは後取は其也。身めれを初とてもあしとわらり。  
 東虎又同様ゆゆの極子とゆは村と合らり。そ全取は後取の  
 板垣と付す。うらまに。そ全取は後取もさう。そ板垣は士  
 大和と飛ぶ。中物の中ゆ。そ先取の中ゆ。さうと付く。  
 氏と東と付す。極とさうとて。そ全取は後取もさう。そ板垣は  
 物と。極とゆゆ。そゆゆ。そ板垣は。極とゆゆ。そ板垣は。極と  
 入。そゆゆ。そゆゆ。そゆゆ。そゆゆ。そゆゆ。そゆゆ。そゆゆ。

ち也合をく。そ後と板垣は。極とゆゆ。そ板垣は。極とゆゆ。  
 合我と初と板垣は。極とゆゆ。そ板垣は。極とゆゆ。  
 ぬと。そゆゆ。そゆゆ。そゆゆ。そゆゆ。そゆゆ。そゆゆ。そゆゆ。  
 板垣は。極とゆゆ。そ板垣は。極とゆゆ。そ板垣は。極とゆゆ。  
 ぬと。そゆゆ。そゆゆ。そゆゆ。そゆゆ。そゆゆ。そゆゆ。そゆゆ。  
 板垣は。極とゆゆ。そ板垣は。極とゆゆ。そ板垣は。極とゆゆ。  
 ぬと。そゆゆ。そゆゆ。そゆゆ。そゆゆ。そゆゆ。そゆゆ。そゆゆ。  
 板垣は。極とゆゆ。そ板垣は。極とゆゆ。そ板垣は。極とゆゆ。  
 ぬと。そゆゆ。そゆゆ。そゆゆ。そゆゆ。そゆゆ。そゆゆ。そゆゆ。  
 板垣は。極とゆゆ。そ板垣は。極とゆゆ。そ板垣は。極とゆゆ。  
 ぬと。そゆゆ。そゆゆ。そゆゆ。そゆゆ。そゆゆ。そゆゆ。そゆゆ。  
 板垣は。極とゆゆ。そ板垣は。極とゆゆ。そ板垣は。極とゆゆ。  
 ぬと。そゆゆ。そゆゆ。そゆゆ。そゆゆ。そゆゆ。そゆゆ。そゆゆ。  
 板垣は。極とゆゆ。そ板垣は。極とゆゆ。そ板垣は。極とゆゆ。  
 ぬと。そゆゆ。そゆゆ。そゆゆ。そゆゆ。そゆゆ。そゆゆ。そゆゆ。  
 板垣は。極とゆゆ。そ板垣は。極とゆゆ。そ板垣は。極とゆゆ。  
 ぬと。そゆゆ。そゆゆ。そゆゆ。そゆゆ。そゆゆ。そゆゆ。そゆゆ。

全吉抄巻之九 一七六 七月廿八日 信州 生島川 中より 芝生 次 一 筋 七 肌











又あゝ合て四十二人討捕。新三子費の取付流るるをわり

一 第吹津法用公は乃より名運する。所利小島山十月廿二日。松枝  
とと迫合。二十三人討捕。出のりて

一 甲府の軍は。法南を以て小島を以て。今丸若嶺。松大和。お人の  
もろ。去十九日午の刻。流旗を以て。火事。出来。以て。流旗。を。別。島。山下。候。所。  
能。打。崩。れ。縁。の。理。も。あ。り。計。獲。失。は。は。新。三。子。費。不。思。儀。取。付。多。く。白。大。島。天  
小。島。て。流。旗。を。以。て。去。三。日。あ。り。つ。つ。と。告。本。嶺。へ。東。尾。十。月。廿。三  
日。と。早。く。返。る。あ。り。申。渡。し。給。ふ。故。新。三。子。費。取。付。所。流。旗。を。以。て。新。三。子。費。  
役。列。士。大。お。の。内。多。く。人。物。員。と。な。小。山。田。候。中。候。取。付。多。く。あ。り。一。取。付。月。廿。八  
日。甲。府。の。軍。は。取。付。目。出。之。日。 薙。勝。合。我。し。り。海。津。平。五。十。八。合。我  
の。根。子。流。旗。を。以。て。去。十。八。日。候。り。女。七。家。と。れ。奉。書。付。奉。 高。取。付。記。之

天正三十九年六月日

甲陽軍鑑全部欽卷之九終

